

所属	人間社会学部・社会福祉学科	職名	准教授	氏名	平部 康子
----	---------------	----	-----	----	-------

1. 主な研究分野

【日英の社会保障制度における家族負担】

現在のように、家族形態の変容（核家族、単親家族）および労働市場への女性の参加が進むと、子の養育や家族の介護は、それを担う者にとって2重の負担（労働機会の喪失、養育や介護のための出費）となる。日英の比較を通じて、社会保障法上にちらばっている家族給付や福祉サービス（児童手当、介護手当や各種加算、介護および保育サービス）と負担（所得制限、費用負担）において家族負担がどのように位置づけられてきたかを把握するとともに、アンペイドワークを担う者が適切に評価され、他人の世話を要する者の支援を家族と社会で分担しうる社会保障法制を検討する。

【所得・福祉サービス給付における制度間調整】

介護および障害を事由とした給付が重複した場合に必要な所得・福祉サービス給付間の制度間調整について、個別制度の具体的目的をこえた共通の理念と原則を検討し、あるべき調整措置を考察する。例えば、社会参入の方法の一つである「就労」をどのように扱うべきか（所得保障給付の要件とする、給付ではなく加算の要件にし緩やかな誘引にとどめる、「就労」よりも広く「社会参入」の範囲を定義づける、所得保障とは組み合わせず独立した就労支援サービスを設ける）など、イギリスの積極的社会政策における具体的措置をわが国と比較したい。

2. 研究業績

①著書・論文

<著書>

- ・ 平部康子「イギリスの年金改革」 河野正輝他編『社会保険改革の法理と将来像』（2010年、法律文化社）
- ・ 平部康子「児童福祉・社会手当」 石橋敏郎編『わかりやすい社会保障論』（2010年）
- ・ 平部康子「福祉サービス給付と所得保障給付との制度間調整—障害のある児童に着目して—」 山田晋他編『社会法の基本理念と法政策』（2011年）

<論文>

- ・ 平部康子「イギリスにおける高齢女性の所得保障」海外社会保障研究175号（2011年）

②その他

<翻訳>

- ・ 平部 康子「家族負担」「失業」 ダニー・ピーテルス著、河野正輝監訳『社会保障の基本原則』（2011年、法律文化社）

3. 外部研究資金

ユニバーサル財団研究助成

4. 受賞

なし

5. 所属学会

日本社会保障法学会・社会保障法学会誌編集委員
日本労働法学会

6. 担当授業科目

(学部)

公的扶助論・2単位・2年・後期、社会福祉援助技術現場実習指導・3単位・2年後期～3年通年、権利擁護と成年後見制度・2単位・3年・前期、社会福祉法制論Ⅰ・2単位・3年・前期、3年・前期、外書講読A・2単位・前期、社会福祉法制論Ⅱ・2単位・3年・後期、3年・通年、社会福祉援助技術現場実習・4単位・3年・前期、社会福祉学演習・2単位・3年後期～4年前期、卒論指導・6単位・4年・後期、日本事情Ⅰ・2単位・留学生・後期、

(大学院)

社会保障制度研究・2単位・後期

7. 社会貢献活動

- ・福岡県介護保険審査会・公益委員・副委員長
- ・福岡県田川保健所感染症の診査に関する協議会・委員
- ・福岡県職業能力開発審議会・委員
- ・福岡県兼営住宅管理審議会・委員
- ・香春町次世代育成支援対策協議会・委員長

8. 学外講義・講演

救急救命士養成研修 救急救命九州研修所「社会保障と社会福祉」

9. 附属研究所の活動等

なし